

多彩な用途のパッチワーク・キルト用ペーパー

ピーシングペーパー

・布と一緒にスムーズにぬえて、後でぬい目から楽に破ってはさずせるペーパーです。

方眼ピーシングペーパー

・アイロンで布に数回くり返し仮接着ができます。

斜方眼ピーシングペーパー

・半透明で図案を簡単に写せます。

・方眼ピーシングペーパーは製図しやすい1cm方眼入り。

・斜方眼ピーシングペーパーは、5ミリの斜方眼入りですから、正三角形・正六角形・ひし形のパターンをいろいろな大きさと簡単に描くことができます。

各サイズ39×110cm
各1組・2枚入

用途 1 ファンデーション・ピーシング(ペーパー・ピーシング)

詳しいぬい方は右図

ファンデーション・ピーシングとは?

図案を描いた台紙に、カットした布(ピース)を合わせて台紙ごとピースをミシンや手でぬい合わせていく方法です。

早く、正解に仕上げることができるピーシングのテクニクです。

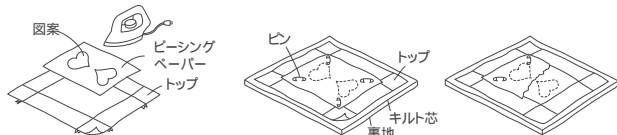
ピーシングペーパーを使用すれば図案が簡単に写せ、布と一緒にスムーズにぬえます。取りはずしも簡単です。

用途 2 ミシン・キルティング

・布が汚れないので、きれいに仕上がります。
・布が伸びないので正確にキルティングできます。

ピーシングペーパーを使えば、キルトに直接図案を写さなくてもOK。

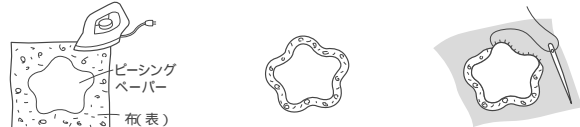
図案を描いたペーパーをトップにのせて、上からミシンでキルティングできます。



1. ピーシングペーパーの表面(つやのない面)にキルティング図案を写します。裏面(つやのある面)を下にして、キルトのトップにのせて、アイロンで仮接着します。(低・中温・約10秒)
2. キルト芯、裏地を合わせてピンで止めた後、図案の上からミシンでキルティングします。
3. ペーパーをぬい目に沿って破るようにして、ていねいに取りはずします。

用途 3 アププリケ

ピーシングペーパーで作った型紙を、アイロンで仮接着できるので、アププリケに便利です。



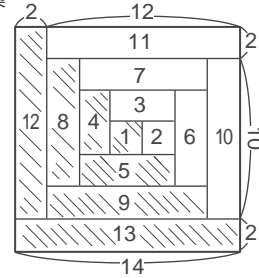
1. ピーシングペーパーのつやのない面にアププリケの図案を描き、カットします。つやのある面を下にして布にのせ、アイロンで仮接着します。
2. ぬいしろを残して布をカットします。
3. ぬいしろを内側へ折り込みながら、たてまつりです。つやのある面を下にして布にのせ、アイロンで仮接着します。

用途 4 シルクなどの裏打(補強)

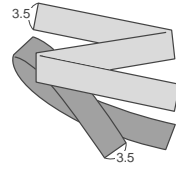
やわらかい布でもピーシングペーパーをアイロンで仮接着すれば、のびがなくなり、正確なピーシングが可能になります。後で取りはずせるので、風合いも損ねません。

ログキャビン(パターン)のぬい方

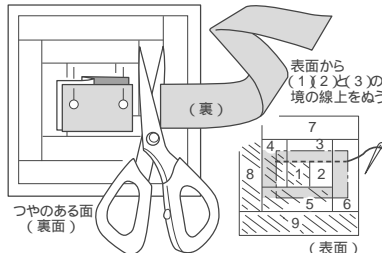
「方眼ピーシングペーパー」を使用すると便利。
図案



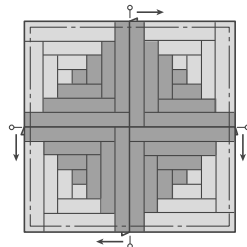
ブロックのでき上がり寸法14×14cm



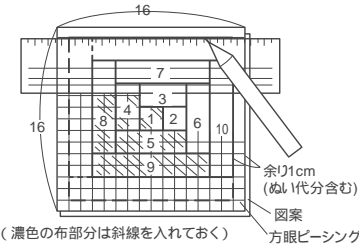
布は3.5cm幅の濃淡2色の布状のはぎれを用意します。



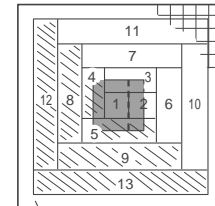
5. 次は(3)をぬい合わせるので、淡色布を中表に合わせてカットし、表面からぬいます。以後、濃・淡に注意して番号順に同様にぬいます。



8. ぬい終わり。この方法でぬうと、各ピースの大きさがきちんとそろい、スピーディに仕上がります。

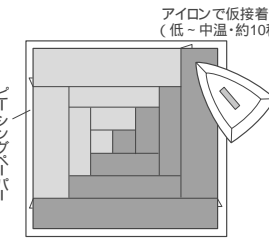


1. 方眼ピーシングペーパーの線を目安に、16cmの大きさにカットし、つやのない面に図案の線と番号を写します。



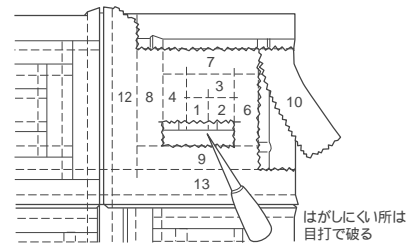
図案側(つやのない面)を上にしてぬう

3. 図案側を上に向けて(1)と(2)の境の線上を待針で止めた布の端から端までぬいます。(両端返しぬい)

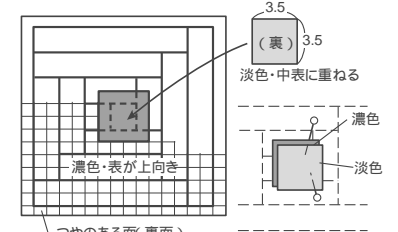


アイロンで仮接着する(低・中温・約10秒)

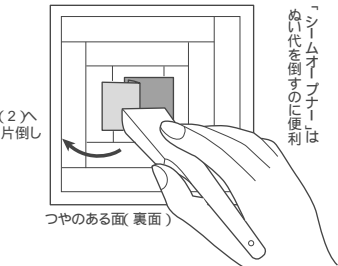
- 6.(13)までぬい終わったらアイロンで仮接着します。作る作品に合わせて枚数分のブロックを作ります。



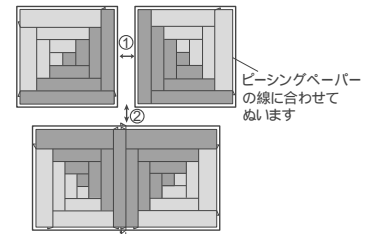
9. ピーシングペーパーをぬい目に沿って破るようにして、ていねいに取り除きます。



2. つやのある面にそれぞれ3.5cmに切った濃淡2色の布を中表に重ねて、中央の(1)の部分に待針で止めます。

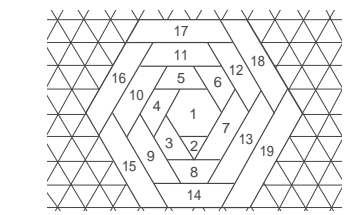


4. 淡色を(2)の方へ倒し、「シームオープナー」を使ってへの底面を折り目をつけます。



7. ログキャビンのつなぎ方は、いろいろあります。(一例)中表に合わせてぬい、ぬい代は交互に片倒しにします。

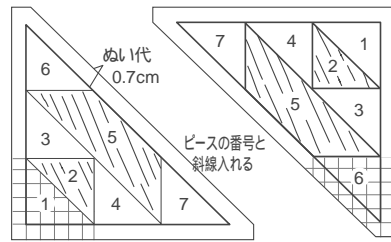
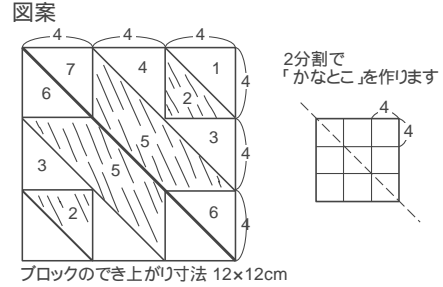
応用「斜方眼ピーシングペーパー」を使用すると六角形のログキャビンができます。



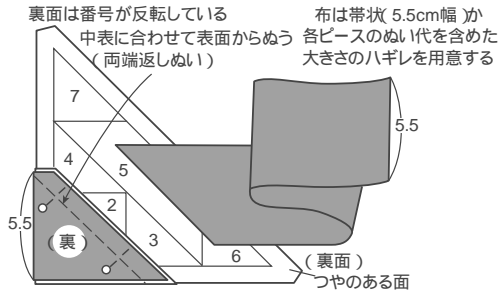
(ぬい方)四角形と同様に中心(1)の布を置き(2)~(19)の番号順に片倒ししながらぬいつけます。

分割して作りぬい合わせる方法

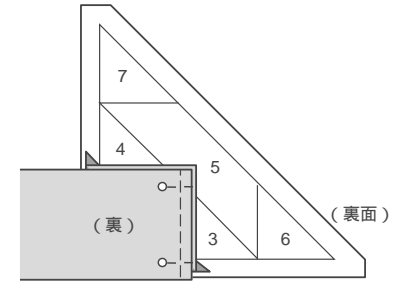
1/2や1/4のピースを作り、あとから合体させると、多くのパターンが作れます。



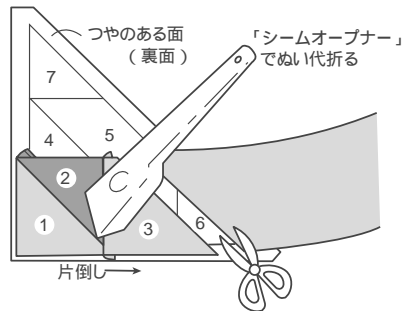
1.方眼ピーシングペーパーに図案を写し、ぬい代をつけて2枚用意します。



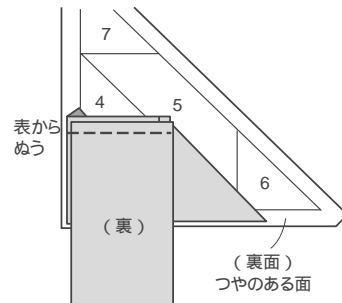
2.布は濃・淡のハギレが5.5cm幅の帯状の布を用意する。(1)に淡色、その上に濃色を中表に合わせて、表面からぬいます。



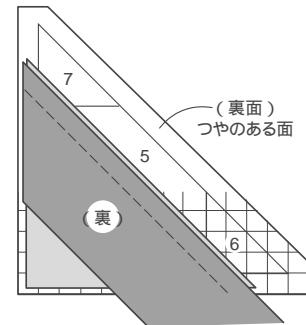
3.(2)の方へ片倒して、(3)の淡色を中表に合わせ、表面からぬいます。



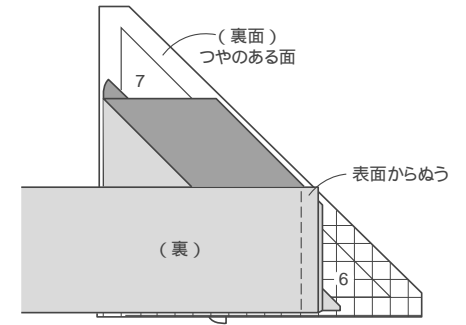
4.(3)へ片倒してぬい代分を残して布をカットします。



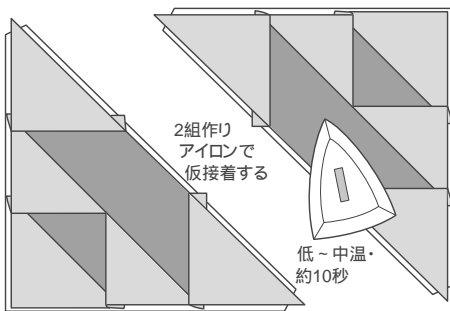
5.(4)の淡色を中表に合わせて、表面からぬい、片倒しにしてぬい代分を残してカットします。



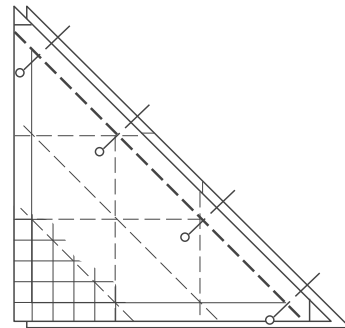
6.(5)の濃色を中表に合わせて表面からぬい、片倒しにして、ぬい代分を残してカットします。



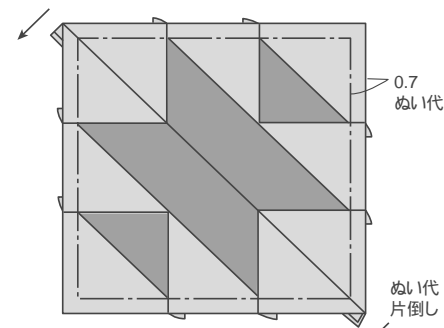
7.(6)の淡色を中表に合わせて表面からぬい、片倒しにしてカットします。(7)も同様にぬいます。



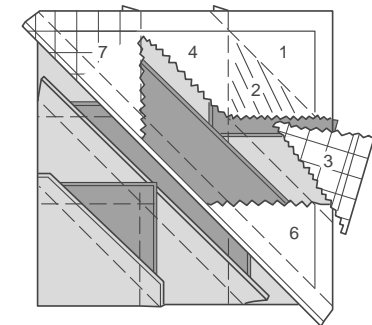
8.ぬい終わったらアイロンで仮接着します。これを2組作ります。



9.2組を中表に合わせてぬいます。



10.ぬい代は片倒しします。



11.裏側のピーシングペーパーを、取り除きます。